

## 中国故事成語に関するデータベースの作成

亀尾 彩希

現在、故事成語を対象とした索引データベースは、紙媒体、インターネット上においてあまりない。そして、それに関する論文も存在しない。本研究では、日本で一般的に使用されている故事成語を索引付けし、そのデータを用いた、故事成語の索引データベースを電子的な形で提供することを目的としている。

故事とは、過去の出来事、もしくは昔から今に伝わる、出来事や事柄を指す。特に中国の古典に書かれている逸話のうち、成語や成句として日常の会話や文章で繁用されるものを指して言う。

故事成語は、中国では成語と呼ばれ、故事をその語源とする一群の慣用語句の総称を指す。日本では故事を由来とするものと、その他のことわざや慣用語と区別するために故事成語と呼ぶ。

日本で一般的に使用されている故事成語をデータベース化するという研究目的に合わせて、辞典からのデータ収集は行わないこととした。また、特定のテーマにそって故事成語を収録している書籍では、他の書籍では使用されていない、一般的とは言い難い故事成語が多くなる可能性があるため、望ましくないと考えた。よって、使用する書籍の選出基準は、書店で入手可能な物であり、尚且つ、故事成語を特定のテーマに偏って収録していないものとした。この基準に則って、データベースの対象として選出した資料は、『故事成語で中国を読む』、『故事成語目からウロコの 85 話』、『中国の故事・ことわざ』、『四字熟語で愉しむ中国史』、『中国古典の名言・名句三百選』、『中華成語故事』の 6 冊である。

データを作成する際に、データ項目を設定しデータ収集を行った。データベースに含まれるデータ項目は、ID、故事成語、出典、時代、地名、人名、キーワード 1、キーワード 2(大項目)、キーワード 2(小項目)、備考、掲載書籍の 10 項目である。地名、人名については、統制表を作成してデータベースに組み込んだ。そしてデータ項目の正規化を行い、テーブル間のリレーションを定義した。作成したデータベースは、故事成語、出典、時代、地名、人名、キーワードからの検索を可能とした。地名、人名、キーワードについては、統制表を参照しながらの検索が可能である。

検索項目を選択し、検索語を入力することで検索結果が表示される。検索結果には、すべてのデータ項目が含まれている。

データベースの作成には、Microsoft Access を用いる。データベースの名前は「中国故事成語データベース」とした。

(指導教員 松本浩一)